

## 第 245 回 浜田市教育委員会定例会

日 時： 令和 7 年 11 月 28 日（金）14 時 30 分から

場 所： 浜田市立中央図書館 2 階多目的ホール

出席者： 岡田教育長 杉野本委員 倉本委員 浅津委員 三浦委員

事務局： 草刈部長 藤井課長 永田担当課長 石橋室長 山本課長 鎌原室長

（書記 日ノ原係長 川村主任主事）

### 1 教育長報告

### 2 議題

(1) 第 3 次浜田市子ども読書活動推進計画の計画期間延長について…………… 資料 1

### 3 部長、課長等報告事項

(1) 教育部長 …………… 資料 2

(2) 教育総務課長 …………… 資料 3、4

(3) 学校教育課社会教育担当課長 …………… 資料 5

(4) 学力向上推進室長 …………… 資料 6

(5) 文化振興課長兼神楽文化伝承室長 …………… 資料 7

(6) 人権同和教育室長 …………… 資料 8

### 4 その他

(1) その他

※次回定例会日程 令和7年12月22日(月)15時00分から  
場所：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

※次々回定例会日程 令和8年1月 日( ) 時 分から  
場所：

## 第245回浜田市教育委員会定例会・教育長報告

令和7年11月28日

月日	内容
10月29日 (水)	教育委員会ボランティア表彰 (松原っ子見守り隊)
10月30日 (木)	中国地区都市教育長会理事会・総会・研究協議会 (ワシントンホテル)
10月31日 (金)	中国地区都市教育長会視察 (島根あさひ社会復帰促進センター) 浜田市立第一中学校合唱コンクール (石央文化ホール)
11月4日 (火)	校長会 (中央図書館) 臨時市議会・全員協議会
11月5日 (水)	市長表敬 (㈱コマツ平和学習出前授業講師)
11月6日 (木)	臨時庁議 (庁議室) 市長報告同席 (浜田市とブータン王国との美術交流報告) 浜田市教育委員辞令交付式 (市長応接室:三浦好真さん)
11月7日 (金)	園長連絡会 (浜田幼稚園) 臨時庁議 (庁議室) 子ども若者支援地域協議会研修会 (中央図書館) 浜田幼稚園PTA要望対応 (教育委員室)
11月8日 (土)	全国中学校柔道大会浜田大会 (石見武道館)
11月10日 (月)	三浦龍司選手祝賀会 (ワシントンホテル)
11月11日 (火)	叙位叙勲伝達 (元雲城小学校長・大坂吉二さん)
11月12日 (水)	文教厚生委員会 (全協室:教育委員会自己点検・評価報告)
11月13日 (木)	B & G全国教育長会議 (東京都)
11月14日 (金)	浜田商業高校60周年記念式典 (浜田商業) 及び祝賀会 (ワシントンホテル)
11月15日 (土)	浜田地域人権・同和教育講演会 (浜田まちづくりセンター)
11月16日 (日)	大尾谷子供神楽団結成20周年記念大会 (国府小学校) 浜田市市民憲章推進大会 (いわみーる)
11月17日 (月)	島根県市町村教育長会議・学力育成会議 (島根県庁)
11月18日 (火)	教育委員会臨時会 (教育委員室) 石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会 (中央図書館)
11月19日 (水)	市長表敬 (全国ブロック選抜U12体操競技選手権出場報告:庁議室) 定例課長会議 (市役所講堂)
11月20日 (木)	地元県議協議会 (全協室)
11月21日 (金)	市長表敬 (浜田ロータリークラブ、モルック器具贈呈:庁議室) 市長表敬 (ベルガロツソいわみ市長表敬:庁議室) 市長表敬 (第二中学校生徒の高円宮英語弁論大会出場報告:庁議室) 定例記者会見 (庁議室) 浜田水産高校後援会総会 (浜田水産高校)
11月25日 (火)	答弁準備原稿検討会議 (庁議室)
11月26日 (水)	答弁準備原稿検討会議 (庁議室) HAMADA教育魅力化コンソーシアム役員会 (東分庁舎会議室)
11月27日 (木)	答弁準備原稿検討会議 (庁議室) 浜田市学校給食審議会 (市役所講堂)
11月28日 (金)	教育委員会定例会 (市役所講堂)

令和 7 年 11 月 28 日  
教育委員会定例会資料  
教 育 総 務 課

### 第 3 次浜田市子ども読書活動推進計画の計画期間延長について

第 3 次浜田市子ども読書活動推進計画（計画期間：令和 4 年度～令和 8 年度）について、下記の理由により、計画期間を 1 年延長し、令和 9 年度までとする。

また、計画最終年度を令和 9 年度とすることに伴い、目標年次の数値を別紙のとおり令和 9 年度における数値へ変更する。

#### 1 背景

令和 7 年 9 月市議会定例会議において、第 2 次浜田市総合振興計画の計画期間の変更（終期を令和 7 年度までから令和 8 年度までへの変更）議案が議決された。

それを受け、現浜田市教育振興計画についても第 2 次浜田市総合振興計画における教育分野の実現を目指す実施計画という位置づけであることから計画期間を 1 年延長する議案を令和 7 年 10 月 26 日の教育委員会定例会に提出し、承認を得たところである。

#### 2 理由

浜田市子ども読書活動推進計画は、浜田市教育振興計画に基づき策定しているため、浜田市教育振興計画が 1 年延長されることに合わせ、第 3 次浜田市子ども読書活動推進計画の期間も 1 年延長する。

第3次浜田市子ども読書活動推進計画における数値目標

内容	令和2年度実績	令和8年度目標	令和9年度目標
子育て世代包括支援センターの事業で行う全ての読み聞かせの回数と参加者数	—	50回 延べ840人	74回 延べ1,100人
移動図書館、簡易閲覧所の貸出冊数	5,704冊	7,200冊	7,200冊
学校図書館の1人あたりの年間貸出冊数	小学校102冊 中学校23冊	小110冊 中25冊	小110冊 中25冊
学校司書または学校図書館支援員の配置率	100%	100%	100%
平日の読書時間30分以上の児童・生徒の割合	小28.6% 中28.5% (令和元年度実績)	小37.6% 中34.0%	小37.6% 中34.0%
児童図書の蔵書数	96,434冊	110,000冊	111,000冊
市民一人当たりの図書貸出数	4.9冊	5.5冊	5.6冊
図書館利用者カード登録者の割合	42.5%	60.0%	60.0%
図書館ボランティア交流会の回数	0回	2回	2回
電子書籍タイトル数	1,921点	2,200点	2,300点

令和7年12月 浜田市議会定例会議

## 令和7年度 一般会計補正予算（第6号）説明資料

### 1. 編成概要

- 今回の補正予算は、9月補正編成後に新たに生じた経費、現時点で事業費の確定等に伴い不用額が見込まれる事業等について調整を行うものです。

### 2. 予算規模

- 補正額は次のとおりです。

(単位：千円)

会 計 名	補正前の額	補 正 額	計
一 般 会 計 (第6号)	45,402,992	357,603	45,760,595

### 3. 補正事項

- 主な補正事項は次のとおりです。

- |                                     |            |
|-------------------------------------|------------|
| (1) 坂根正弘奨学金給付事業                     | 18,401 千円  |
| (2) 子ども医療費助成事業                      | 27,382 千円  |
| ○令和8年度からの高校生年齢の通院自己負担を無償化するための準備経費等 |            |
| (3) 益井俊雄奨学基金積立金                     | 120,000 千円 |
| (4) 物価高騰対策として追加で取り組む事業費の調整          |            |
| ○学校給食費物価高騰対策事業                      | 7,933 千円   |

#### 4. 一般会計補正予算（第6号）

##### 1. 歳入歳出予算総括表

（歳入）

〔単位：千円〕

款	補正前の額	補正額	計	説明
13 分担金及び負担金	241,703	3,055	244,758	県営農業基盤整備促進事業分担金 600 林地崩壊防止事業分担金 2,074 7年農業用施設災害復旧費分担金 375 他
15 国庫支出金	5,904,858	48,709	5,953,567	障がい者自立支援給付費 38,789 7年公共土木施設災害復旧費 9,920
16 県支出金	3,020,106	1,032	3,021,138	障がい者自立支援給付費 19,395 国土調査費 △ 38,934 林地崩壊防止事業費 7,750 他
18 寄附金	1,273,197	120,000	1,393,197	益井俊雄奨学基金 120,000
19 繰入金	4,182,331	22,551	4,204,882	財政調整基金繰入金 △ 26,921 まちづくり振興基金繰入金 31,071 ふるさと応援基金繰入金 18,401
21 諸収入	1,422,749	40,456	1,463,205	公共交通チケット収入 △ 6,624 浜田地区広域行政組合負担金返還金(民生費) 10,721 浜田地区広域行政組合負担金返還金(衛生費) 31,268 他
22 市債	5,575,100	121,800	5,696,900	県営農業基盤整備事業負担金 12,800 林地崩壊防止事業費 9,400 現年公共土木施設災害復旧費 90,600 他
歳入合計	45,402,992	357,603	45,760,595	

（歳出）

〔単位：千円〕

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
2 総務費	10,035,061	636	10,035,697	△ 5,296		13,884	△ 7,952
3 民生費	12,331,137	84,875	12,416,012	58,184			26,691
4 衛生費	3,957,772	44,038	4,001,810	9,044		19,071	15,923
6 農林水産業費	3,221,519	38,062	3,259,581	7,750	15,700	14,674	△ 62
8 土木費	3,274,759	△ 51,912	3,222,847	△ 38,934			△ 12,978
10 教育費	4,003,949	127,933	4,131,882	7,933		120,000	
11 災害復旧費	90,000	113,971	203,971	7,593	93,900	381	12,097
歳出合計	45,402,992	357,603	45,760,595	46,274	109,600	168,010	33,719

8 (土木費)

△ 51,912

番号	新規区分	事業名及び事業概要	事業費	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
13		<b>地籍調査事業</b> 補助事業の決定に伴う調整  【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>174,335</td> <td>△ 51,912</td> <td>122,423</td> </tr> </table> ※当初 (492) 174,335千円	補正前	補正額	補正後	174,335	△ 51,912	122,423	△ 51,912	△ 38,934	0	0	△ 12,978
補正前	補正額	補正後											
174,335	△ 51,912	122,423											
<b>土木費 合計</b>			△ 51,912	△ 38,934	0	0	△ 12,978						

10 (教育費)

127,933

番号	新規区分	事業名及び事業概要	事業費	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
14	新規	<b>益井俊雄奨学基金積立金</b> 故益井俊雄氏の御遺志による寄附金を給付型奨学金の原資とするため、基金条例を制定し、基金に積み立てる  【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>120,000</td> <td>120,000</td> </tr> </table>	補正前	補正額	補正後	0	120,000	120,000	120,000	0	0	120,000	0
補正前	補正額	補正後											
0	120,000	120,000											
15		<b>学校給食費物価高騰対策事業</b> 米調達価格の高騰に伴う調整 ○米価高騰対策補助金 補助金額：高騰前の米調達価格との単価差 336円/kg (当初見込) → 596円/kg  【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>38,896</td> <td>7,933</td> <td>46,829</td> </tr> </table> ※第1号 (9) 24,344千円、第4号 (2) 14,552千円	補正前	補正額	補正後	38,896	7,933	46,829	7,933	7,933	0	0	0
補正前	補正額	補正後											
38,896	7,933	46,829											
<b>教育費 合計</b>			127,933	7,933	0	120,000	0						

11 (災害復旧費)

113,971

番号	新規区分	事業名及び事業概要	事業費	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
16		<b>7年農地災害復旧費</b> 令和7年7月及び8月に発生した豪雨において被災した農地の復旧工事等 農地 ○補助分 浜田：1箇所 旭：1箇所 弥栄：2箇所 ○単独分 浜田：1箇所  【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> <td>2,739</td> <td>12,739</td> </tr> </table> ※当初 (699) 10,000千円	補正前	補正額	補正後	10,000	2,739	12,739	2,739	△ 20	300	6	2,453
補正前	補正額	補正後											
10,000	2,739	12,739											
17		<b>7年農業用施設災害復旧費</b> 令和7年7月及び8月に発生した豪雨において被災した農業用施設の復旧工事等 農業用施設 ○補助分 金城：2箇所 ○単独分 浜田：7箇所 金城：2箇所  【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>10,000</td> <td>1,128</td> <td>11,128</td> </tr> </table> ※当初 (701) 10,000千円	補正前	補正額	補正後	10,000	1,128	11,128	1,128	△ 2,307	3,000	375	60
補正前	補正額	補正後											
10,000	1,128	11,128											

【参考】

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る予算措置の状況

単位:千円

番号	事業名	事業費	交付金	備考
-	予算提案済み分	240,166	240,166	令和7年度一般会計当初予算分 (令和6年度低所得世帯支援枠等分、給付支援サービス活用枠分)
-	予算提案済み分	219,323	181,555	令和7年度一般会計補正予算(第1号)分 (推奨事業メニュー分)
-	予算提案済み分	50,545	30,215	令和7年度一般会計補正予算(第4号)分 (推奨事業メニュー分)
2	公共交通チケット交付事業	△ 19,872	△ 5,296	令和7年度一般会計補正予算(第1号)整理番号1の不用額の調整
15	学校給食費物価高騰対策事業	7,933	5,296	推奨事業メニュー分
	合 計	498,095	451,936	

行事等予定表

11月28日 ~ 12月31日

月日	曜日	開始 ~ 終了	内容	場所	担当課	教育委員	備考
10月11日~1月25日		~	企画展「老中になつた浜田藩主一康福と康任一」	浜田城資料館	文化振興課		
10月11日~1月12日		~	ぼうけん! 植物展	世界子ども美術館	文化振興課		
11月30日	(日)	9:00 ~ 12:00	2025旭ロードレース大会	木田暮らしの学校周辺	旭分室		
12月6日~25日		~	いわみの冬至祭 光の回廊2025	石正美術館	文化振興課		
12月6日~3月8日		~	没後10年記念展「石本正 ヨーロッパ美術の旅~中世を夢見て~」	石正美術館	文化振興課		
12月7日・1月18日	(日)	10:00 ~ 16:00	特別企画「手づくり甲冑装備体験会」	浜田城資料館	文化振興課		
12月7日	(日)	13:30 ~ 15:00	浜田市人権・同和教育講演会	いわみーる	人権同和教育室	○	
12月9日	(火)	18:30 ~ 20:30	石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会	中央図書館	神楽文化伝承室		
12月10日	(水)	15:30 ~ 16:30	第12回浜田市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式	中央図書館	学力向上推進室		
12月11日	(木)	15:30 ~ 17:00	令和7年度浜田市人権作品コンクール表彰式	浜田まちづくりセンター	人権同和教育室	○	
12月14日	(日)	13:00 ~	浜田市新市誕生20周年記念事業 「フォレストコンサートin浜田」	石央文化ホール	文化振興課		
12月20日	(土)	9:00 ~ 12:30 ~	石央シネマ倶楽部企画映画上映会「35年目のラブレター」	石央文化ホール	文化振興課		
12月22日	(月)	13:30 ~	令和7年度全国高等学校総合体育大会浜田市実行委員会第4回総会	本庁4階講堂AB	高校総体・国スポ・全スポ推進室		
12月22日	(月)	15:00 ~	第246回教育委員会定例会	中央図書館	教育総務課	○	
		~					
		~					
		~					
		~					
		~					

## 秋の読書週間イベントについて

10月27日（月）から11月9日（日）までの読書週間に合わせて、ボランティア活動団体や読書推進活動団体と協働して実施したイベントについて報告します。

## 1 中央図書館実施分

(1) 秋の野外朗読祭（主催：中央図書館）【参加者 15名】

- ・日 時 令和7年10月26日（日）10：00～12：00
- ・場 所 ウッドデッキ
- ・内 容 朗読と琴のコラボレーション、尺八、古典の謡み聞かせ

(2) 一夜一冊 ～はまだ読書夜会～（主催：はまだ図書館友の会）【参加者 12名】

- ・日 時 令和7年10月30日（木）19：00～21：00
- ・場 所 コミュニケーションスペース
- ・内 容 No More War HAMADA 代表阿部颯治さん、Peace Line 内山晶太さんによるお話「今こそ、平和について考えませんか？」と参加者による本の紹介

(3) 図書館寄席（主催：中央図書館）【参加者 50名】

- ・日 時 令和7年10月31日（金）19：30～21：00
- ・場 所 コミュニケーションスペース
- ・内 容 まちの落語家による落語の上演



## (4) 開館時間延長

令和7年10月30日（木）・31日（金）の両日、開館時間を21：00まで延長。

- ・利用者（2日間） 19名（※閲覧・貸出・返却のみ）

## (5) 特別展示「本が泣いています」

- ・期 間 令和7年11月1日（日）～11月24日（日）
- ・場 所 図書館入口ゲート横
- ・内 容 本の取扱いマナー啓発のための汚損、破損して返却された図書の展示

## (6) 本のリサイクル市

- ・期 間 令和7年11月4日（火）～11月30日（日） ※無くなり次第終了
- ・場 所 ロビー、コミュニケーションスペース
- ・内 容 図書館の所蔵としなかった寄贈本や保存期限を過ぎた雑誌を無償で譲る。

## 2 金城図書館実施分

## (1) 本のリサイクル市

- ・日 時 令和7年11月8日（土）・9日（日）9：00～17：00※無くなり次第終了

- ・場 所 金城図書館玄関ロビー
- ・内 容 図書館の所蔵としなかった寄贈本を無償で譲る。

(2) おはなし会&かんたん！30分こうさく 【参加者 4名】

- ・日 時 令和7年11月8日（土）10：00～11：00
- ・場 所 おはなしのへや
- ・内 容 毛糸で作るクリームたっぷりフワフワモンブランのこうさく教室とおはなし会

### 3 旭図書館実施分

(1) 本のおたのしみ袋

- ・日 時 令和7年10月11日（土）～11月8日（土）
- ・用意数 30袋（一般向け15袋、児童向け15袋）
- ・内 容 テーマごとに図書館で選んだ本3冊を福袋として借し出す。

(2) 続々おばけやしき図書館 【参加者 240名】

- ・日 時 令和7年11月9日（日）①10：00～12：00 ②13：00～15：00
- ・場 所 旭図書館横 旭支所1階多目的室
- ・内 容 旭ふる里まつりに合わせ図書館主催のおばけやしきを開催。

(3) 「えほん50」2025 展示・貸出

- ・日 時 令和7年10月28日（火）～11月30日（日）
- ・内 容 全国SLA絵本委員会選定の50冊、「えほん50」を島根県立図書館西部読書普及センターから借り受け展示、貸出を行う。

### 4 三隅図書館実施分

(1) 本のリサイクル市

- ・期 間 令和7年11月8日（土）10：00～15：00※無くなり次第終了
- ・場 所 三隅図書館多目的室
- ・内 容 図書館の所蔵としなかった寄贈本を無償で譲る。

(2) 秋のおはなし会 【参加者 31名】

- ・日 時 令和7年11月8日（土）14：00～・9日（日）10：30～
- ・場 所 おはなしの部屋

(3) 図書館でこびとさがし 【参加者 174名】

- ・日 時 令和7年11月8日（土）・9日（日）10：00～15：00
- ・場 所 三隅図書館内
- ・内 容 「こびとづかん」（ロクリン社）のこびとのイラストを館内にかくし、利用者さんに探しもらい、図書館を知ってもらう。

(4) 三隅図書館応援隊「ブックま」さんによるコーヒーサービス

- ・日 時 令和7年11月8日（土）13：00～※無くなり次第終了
- ・場 所 カフェテラスコーナー

## 令和 8 年浜田市二十歳の集いの開催について

令和 8 年浜田市二十歳の集いについて、次のとおり開催します。

また、昨年度と同様、参加に係る事前申込は不要、家族の方も見学可能です。

### 1 開催日時

令和 8 年 1 月 3 日（土）13 時 30 分～14 時 15 分

※12 時 30 分より受付開始

### 2 場 所

石央文化ホール 大ホール（浜田市黒川町 4175 番地）

### 3 対 象

平成 17 年 4 月 2 日～平成 18 年 4 月 1 日生まれで、次のいずれかに該当する方

- (1) 浜田市在住者（浜田市出身でなくても可）
- (2) 浜田市出身の市外在住者

※対象者 417 人（令和 3 年 3 月浜田市内中学校卒業生）

【過去の参加者数及び出席率について】

令和 7 年：374 人／465 人（80.4%）

令和 6 年：353 人／469 人（75.3%）

令和 5 年：319 人／454 人（70.3%）

令和 4 年：237 人／484 人（48.9%）※開催延期による

令和 3 年：258 人／467 人（55.2%）※開催延期による

### 4 主な内容（予定）

- (1) 市民憲章唱和
- (2) 主催者挨拶及び来賓祝辞
- (3) 代表挨拶
- (4) ビデオメッセージ上映

## **5 出席者（主催）**

市長、副市長、教育長

## **6 来 賓**

島根県議会議員、浜田市議会議員、浜田市教育委員

## **7 参加案内（案内状送付）**

9月末時点で浜田市内に住民登録のある対象者へ案内状を送付。

※浜田市を転出された方については、転出前の世帯が浜田市にある場合に限り、9月末時点の世帯主宛に案内状を送付。

浜田市のとらえる「学力」 = 浜田市の児童生徒の「課題」  
限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、  
根拠を明確にして筋道を立てて表現（文章、式、図、音声言語など）する力

### 1 デジタル学習基盤の効果的な活用について・・・資料A-1、A-2、A-3

初等教育資料の8月号（Aug. 2025 No.1062）と9月号（Sep. 2025 No.1063）で、特集が組まれました。タイトルは「各教科等の目標の実現に向かうGIGAスクール構想のもとでの授業」です。その中で東京学芸大学教職大学院の堀田龍也教授が論説の「おわりに」で次のように述べておられます。

読者の皆さんの学校や教室では、子供にすでにデジタル学習基盤を使いこなすだけの情報活用能力が身に付いているだろうか。まだなのだとすれば、少し焦った方がよいのかも知れない。

「GIGAスクール構想」開始から5年、各学校のデジタル学習基盤が整ってきました。この先あまり焦らなくてもよいように、この特集を基に「ICT活用教育のこれから」について考えてみたいと思います。

#### （1）デジタル学習基盤とは

令和6年12月25日、次期学習指導要領の改訂に向けて文部科学大臣より諮問が出されました。その中で、顕在化した課題の3点目に、「デジタル学習基盤」について書かれています。

「GIGAスクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤は、一人一人の興味や関心に応じ、よさを伸ばし、困難の克服を助ける大きな可能性を秘めていますが、その効果的な活用は緒についたばかりです。我が国のデジタル競争力は他国の後塵を拝しており、社会全体の生産性や創造性を高めていく観点からもデジタル人材育成の強化は喫緊の課題です。その一方で、実体験の格差やデジタル化の負の側面を指摘する声もあります。『デジタルキャリアか』、『デジタルか紙か』といった二項対立に陥らず、『デジタルの力でリアルな学びを支える』との基本的な考えに立ち、バランス感覚を持って、積極的に取り組む必要があります。

#### デジタル学習基盤の定義

1人1台端末やクラウド環境等の情報機器・ネットワーク・ソフトウェアなどの要素で構成される一連の学習基盤

#### 要素

- ① 児童生徒の端末
- ② 通信ネットワーク
- ③ 周辺機器
- ④ デジタル教科書・デジタル教材・学習支援ソフトウェア
- ⑤ CBTシステム(MEXCBT)
- ⑥ 教育データ利活用
- ⑦ 情報セキュリティ

（生成AIについては、今後急激に進展し、取り込まれる可能性あり）

（令和6年11月 中央教育審議会デジタル学習基盤特別委員会）

デジタル学習基盤は、次期学習指導要領の前提として機能していくことが想定されていることから、教育課程企画特別部会による教育課程の検討と連携して更なる検討が進んでいくと思います。

今後のテーマ  
デジタルの力で  
リアルな学びを支える

## (2) デジタル学習基盤を土台とした学びの現状と課題

### <現状>

- ・デジタル学習基盤によって、時間や場所だけでなく、子どもにとって自分のペースで取り組むことができるといった柔軟な学習環境を整えることが可能になった。
- ・デジタル学習基盤は、教師の指導ツールとしての側面に加え、学習者の学習ツールとしての側面を有しており、子どもにとっての学びやすさの向上や合理的配慮の基盤として働き、多様な特性をもつ子どもたちが主体的に学ぶための基礎となるものでもある。
- ・デジタル学習基盤の活用が馴染んだ教室では、子どもたちは「デジタルもリアルも」、「デジタルも紙も」自由に選択、活用しながら学んでいる。

### (例)

生活科の学習	昆虫の体に興味をもった際に、教科用の図書で確認した上でデジタル教材を活用し、昆虫の画像を拡大、回転させながら観察する。
体育科の学習	マット運動で前転をする自分の動きを撮影し、視聴して振り返ることにより改善に取り組む。
理科の学習	実験を録画し、その結果をクラウドで共有・比較することにより、考察の内容を深める。

- ・「ほぼ毎日」あるいは「週3日以上」1人1台端末を授業で活用している学校は、令和6年時点で、小学校が93.3%、中学校が90.8%まで上昇した。(令和4年度時点で小学校が85.2%、中学校が80.7%)
- ・直近の令和6年度の全国学力・学習状況調査では、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を進め、課題の解決に向けて自分から取り組んだと考える児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられている。
- ・課題の解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、考えをまとめ、発表・表現する場面でICTを活用している傾向がみられ、その両方に取り組んだ学校グループの児童生徒は、それ以外の学校グループに比べて、各教科の正答率が高い結果がみられている。
- ・全国学力・学習状況調査において、ICT機器を活用し、主体的・対話的で深い学びに取り組むほど、平均正答率が高いという結果が出ている。
- ・約9割の児童生徒が、「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」などのICT機器活用の効力感を実感している。
- ・ICT機器の効力感に肯定的に回答した児童生徒ほど、挑戦心・自己有用感・幸福感等に関して肯定的に回答している。
- ・学校での1人1台端末活用が日常化されつつあり、公教育の必須ツールとしての認識が浸透した。
- ・令和4年8月時点で、小・中学校の校長の約6～8割が1人1台端末の効果を認識するとともに、活用頻度が高いほど効果の認識が高い結果となるなど、GIGAスクール構想から数年の段階で大きな成果が表れつつあるとともに、今後への期待も高まっている。

### <課題>

- ・日本の各教科の授業でのICT活用頻度は、OECD諸国と比較すると低い状況にとどまっており、高校生自身が情報を集める・記録・分析・報告するなどの「ICTを用いた探究型の教育の頻度」指標はOECD平均を大きく下回り、加盟国最下位である。

この「現状と課題」が、堀田教授が「少し焦った方がよいのかも知れない。」と言われる理由ではないかと思います。いかがでしょうか。

### (3) 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙及び学校質問紙の回答から

令和7年度全国学力・学習状況調査の「児童生徒質問紙」と「学校質問紙」の中のICT活用教育に関する回答結果を眺めていて、次のことを思うようになりました。

<回答を見る視点>

1. ICT活用に関して、児童生徒と学校のとらえに差があるのではないかな？
2. 学校間や校種間の取組に差があるのではないかな？
3. 質問内容とICT活用教育に求められている姿は表裏一体なのではないかな？
4. 学校での1人1台端末活用が日常化されつつあり、公教育の必須ツールとしての認識が浸透してきたと言われるが、はたしてそう言い切れるかな？

そこで、「児童生徒質問紙」及び「学校質問紙」の中から「ICT活用教育」に関わる質問項目と回答を選び、表にまとめてみました。

資料A-1、A-2、A-3

改めて、4つの視点で質問内容や回答結果を見てみると、いろいろなことが見えてくるのではないのでしょうか。

番号	学校質問調査	質問内容
59		児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。
60		児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面
61		教職員と児童生徒がやりとりする場面
62		児童生徒同士がやりとりする場面
63		児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面
64		前年度に、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童が学校以外の施設（他の学校や社会教育施設、民間企業等）にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか。
65		あなたの学校では、教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか。
66		あなたの学校では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。
67-1		不登校児童生徒に対する学習活動等の支援
67-2		希望する不登校児童生徒に対する授業配信
67-3		特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援
67-4		外国人児童生徒に対する学習活動等の支援
67-5		児童生徒の心身の状況の把握
67-6		児童生徒に対するオンラインを活用した相談・支援
68		障がいのある児童生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障がい種・障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援をどの程度行いましたか。

(4) AIドリルの活用状況 (WAU) について . . . . . **資料B**

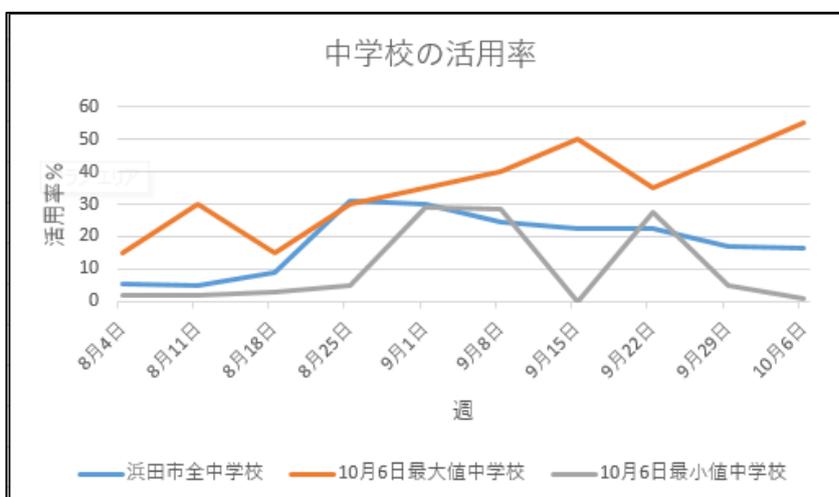
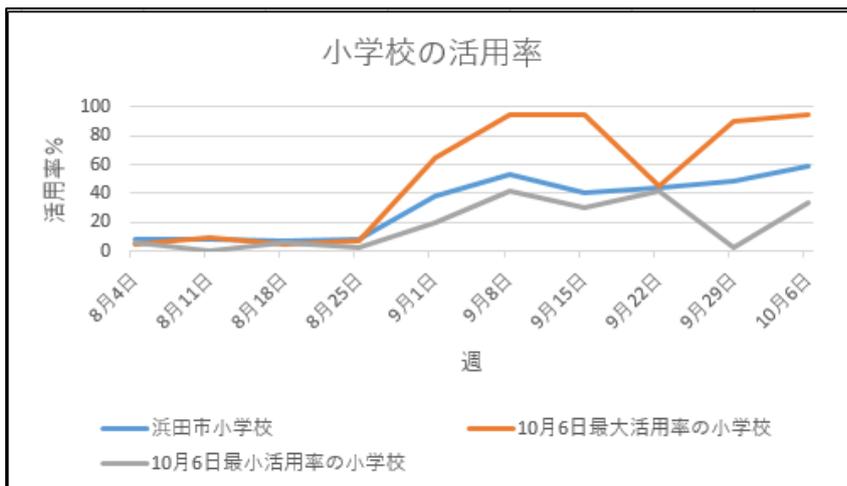
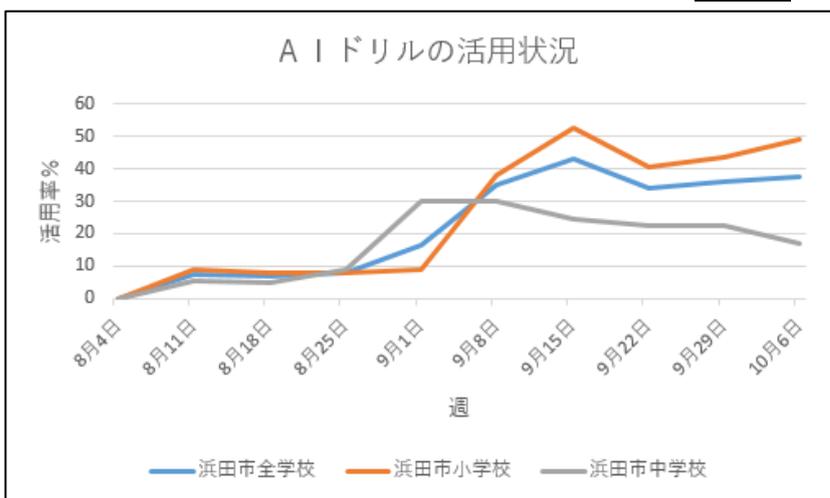
浜田市が(株)ベネッセコーポレーションの「ミライシード」の中の「デジタルドリル：ドリルパーク」「CBT：テストパーク」「特性に合わせた学び：まるぐランド」「学習データ管理：カルテ」を導入して、4か月が経とうとしています。多くの学校で、授業の中で、あるいは朝学習の時間など生活時程に位置付けて、また、家庭学習として、AIドリルを活用していただいているようで、とても嬉しく思います。

10月の校長会でお知らせしましたが、ベネッセコーポレーションより、学校ごとの「WAU」を提供してもらうことになりました。

学校規模が違うので、数字のみを一概に比較することはできませんが、それぞれの学校の傾向は読み取ることができると思います。

- ① 2学期の始めに活用が多くなった。
- ② 9月の後半は少し停滞気味である。(運動会や体育祭が要因か)
- ③ 小学校の「よく使う学校」は90%を超えている。
- ④ 一方で「使わない学校」は30%程度である
- ⑤ 中学校の活用率は減少傾向にある。
- ⑥ 小中学校間の格差が広がりつつある。
- ⑦ 中学校の「よく使う学校」は50%を超えている。
- ⑧ 中学校の「使わない学校」は1%程度である。

AIドリルは使わなければ効果は出ません。近い将来必ず効果が出ると信じて、まずは初期指導を丁寧に行ってみてください。児童生徒は徐々に使えるようになり、意欲も増してくるはずです。



**WAU : Weekly active users**  
 1週間のうちに、全体の人数を分母に何人がログインをしたかを表す割合  
 ※その週に1度ログインするとカウントされ、1人が2度、3度と何度ログインしてもそれは1カウントになる。

**(5) 来年度の全国学力・学習状況調査に向けて・・・・・・・・・・資料C**

9月の校長会でもお知らせしましたが、令和8年度の全国学力・学習状況調査では、中学校英語の調査がC B T (Computer Based Testing コンピュータ使用型調査) システムであるM E X C B Tで実施されます。それに関連して、島根県教育庁学校教育課義務教育推進室長より令和7年8月29日付事務連絡「令和8年度全国学力・学習状況調査(中学校英語)のCBT実施に係る対応等について」や、県内の全中学校等悉皆の「中学校外国語科担当教員対象オンライン説明会【8月18日(月)、8月25日(月)8月26日(火)】で、次の説明がありました。

- 英語の授業では、今後一層、文部科学省のCBTシステムであるMEXCBTの操作に習熟しておく必要があること。
- 全国学力・学習状況調査対象学年の生徒だけでなく、全生徒が1人1台端末、マイク付きイヤホン等の使用も併せ、日常的に使い慣れておく必要があること。
- 令和8年度全国学力・学習状況調査(中学校英語)の際、機器操作等に慣れていない状況は、英語の調査を受ける前の段階で生徒がつまづくことにつながる恐れがあること。

- ⇒ 英語の授業では、今後一層、文部科学省のCBTシステムであるMEXCBTや、1人1台端末を使用し、聞き取り・即興での発話・録音・キーボード入力等を日常的に行い、操作に習熟しておくことが必須である。
  - ・選択問題だけでなく、英文を入力する問題も出題される。
  - ・回答は1発勝負！リターンキーはない。
- ⇒ 調査時は、「ヘッドセット」や「マイク付きイヤホン」が必要となる。機器がしっかりと使えるよう、日ごろから準備をしておく必要がある。
  - ・令和5年度全国学力・学習状況調査の際、調査対象生徒数の3分の1の数のマイク付きヘッドホンが、文部科学省から調査対象の中学校に配付されているので、各中学校でこのマイク付きヘッドホンの所在を確認しておく。(丁寧に仕舞い込んだ結果所在がわからなくなったケースや劣化して使えなくなったケースがある。)
  - 現在このことについて調査依頼をしています。11月6日(木)を回答期限としていますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。
- ⇒ 「中学校外国語科担当教員対象オンライン説明会」に参加された先生を中心に、各中学校で情報を共有するとともに、準備を進める。
- ⇒ 操作等で不明な点は、ICT支援員に相談してみるのもよい。

- サンプル問題提供されたので、それらを使って準備を進めてください。
- 令和9年度からは、小学校でもCBTで実施される予定なので、小学校でも準備を進めてください。

前述の堀田龍也教授は次のように結んでおられます。

GIGAスクール構想がスタートして5年が経過する。あと5年もすれば次期学習指導要領が全面实施となるだろう。義務教育段階では、すでに全員が端末を持っており、それをいつでも活用できる環境にある。従来までの学習基盤である紙の教科書やノートと同様、デジタル学習基盤も学びに活用していくことになる。

紙の時代の学習基盤において、鉛筆の持ち方や、マス目に合わせた書き方、一つ一つの文字の書き順、学ぶ時の姿勢などの初期指導が徹底されていた。このことを踏まえれば、デジタル学習基盤においても端末の扱いや、キーボードからの日本語入力、各種クラウドツールに使い慣れること、情報を利用・発信する際の責任の理解といった初期指導が必要となると考えられる。これらは必ずしも探究的に学べるわけではないとはいえ、いったん身に付ければ探究的な学びの学習過程において機能することができる。端末の活用が本質的な目的ではないとはいえ、初期指導の段階においては端末の活用方法を身に付けさせることを目的とした時期が存在することは否定できないのではないだろうか。

参考・引用 「特集Ⅰ 解説 各教科等の目標の実現に向かうGIGAスクール構想のもとでの授業①」  
各教科等の目標の実現に向かうGIGAスクール構想のもとでの授業  
文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム情報教育振興室  
初等教育資料 8月号 (Aug. 2025 No.1062) 文部科学省 ME X T 6 4  
「特集Ⅰ 論説① 各教科等の目標の実現に向かうGIGAスクール構想のもとでの授業②」  
主体的・対話的で深い学びの実現に向けたデジタル学習基盤の役割  
東京学芸大学教職大学院教授・学調特別補佐 堀田 龍也  
初等教育資料 9月号 (Sep. 2025 No.1063) 文部科学省 ME X T 6 4  
「デジタル学習基盤に現状と課題の整理」

令和6年(2024)11月 中央教育審議会初等中等教育分科会 デジタル学習基盤特別委員会

以上この先あまり焦らなくてもよいように、初等教育資料の8月号 (Aug. 2025 No.1062) と9月号 (Sep. 2025 No.1063) の特集を基に「ICT活用教育のこれから」について考えてみました。

学校の「デジタル学習基盤」の使い勝手などはいかがでしょうか。何かお困りのことなどあれば、ICT支援員や浜田市教育委員会担当者にご相談ください。

## 2 令和7年度 子どもの声でつくる授業について

6月の校長会で「令和7年度 子どもの声でつくる授業」を配付し、説明しました。各学校においては、「子どもの声でつくる授業」を合言葉に、研究授業や研究協議等を通じて授業改善に取り組んでいただいています。令和7年度の折り返しを過ぎた「今」だからこそ、いったん立ち止まり、各学校の学力向上に関する取組を振り返ってみられてはいかがでしょうか。

### (1) 基本的な考え方

全国学力・学習状況調査や島根県学力調査の結果を踏まえた今後の授業改善の方向性、

- 1 知識・技能の確かな定着
  - ・各学校の基礎学力育成の取組、特に個別指導時間確保を継続・充実
  - ・習得した知識を活用する時間を1時間の授業や内容のまとまりの中で設定
- 2 「対話的で深い学び」への取組及び「要約学習」の推進
  - ・習得した知識と知識がつながって納得したり、習得したいいくつかの知識(情報)を関連付けながら考えて自己の考えを導き出して表現し、考えを練り上げたりしていく学習の充実
  - ・「要約学習」及び「たくさんやる」の推進
- 3 習熟度別学習や複線型授業の実施 ⇔ タブレット端末等のICT機器の活用
- 4 夢や目標をもって取り組む指導(キャリア教育)、学級経営の充実
  - ・「なすことによって学ぶ」を方法原理とする特別活動(特に学級活動(1))の取組充実を図る
- 5 計画を立てて取り組む家庭学習
  - 小中連携教育における各中学校区の方針を各学校で確実に実施

### 令和7年度の重点

付けたい力を明確にした上で、授業のゴールを子どもの姿で具体的に想定した授業

- 付けたい力を明確にした上で、授業のゴールを子どもの姿で具体的に想定
- 付けたい力を踏まえた授業構想
- 目指すゴールの姿に向かった授業展開
- 子どもの姿を基にした、授業改善につながる研究協議

- 各指定校事業の実践校は、「子どもの声でつくる授業」に基づいた授業を公開してください。
- 浜田市内小中学校教員は、指定校の公開授業または市教育研究会の各部会が実施する研究授業・研究協議に年1回以上参加してください。
- 令和7年度の重点を実現していくために、特に次の取組を大切に授業実践等を行うようにしてください。

### 付けたい力を明確にした上で、授業のゴールを子どもの姿で具体的に想定した授業

1 付けたい力を明確にした上で、授業のゴールを子どもの姿で具体的に想定

2 付けたい力を踏まえた授業構想

- (1) タブレット端末の活用
- (2) 児童生徒自身による学び方の自己選択（複線型授業、習熟度別学習）
- (3) 浜田市児童生徒の課題解決にもつながる各種手法の検討  
（要約学習、知識構成型ジグソー法、価値ある活動を「たくさんやる」等）

3 目指すゴールの姿に向かった授業展開

- (1) 提示する問いの吟味（解決の方向性を含む問いの焦点化、選択肢の提示）
- (2) 深い学びに向かった話合いのコーディネート（視点の提示、言葉以外の表現方法の活用）
- (3) 価値ある言動をすかさず「ほめる」

4 子どもの姿を基にした、授業改善につながる研究協議

- (1) ゴールの姿をより具体的に事前協議
- (2) ICTや思考ツール等の活用
- (3) 全員が授業改善への具体的なイメージをもつことができるような振り返り

進捗状況はいかがでしょう？

浜田市のとらえる「学力」 = 浜田市の児童生徒の「課題」  
限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現（文章、式、図、音声言語など）する力

資料 A - 1

最大値

最大値

令和7年度 全国学力・学習状況調査質問紙(ICTに関するもの)の結果分析

※4月17日に教科に関する調査を一つ以上実施し、かつ、学校質問調査を実施した学校を対象として集計した値

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6
28	5年生(1・2年生)までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	ほぼ毎日 1日に複数回	ほぼ毎日 1日に1回	週3回 以上	週1回 以上	月1回 以上	月1回 未満
	浜田市小学校の回答割合 (%)	8.9	12.6	23.2	36.1	14.6	4.6
	2が最大値となった小学校の回答割合 (%)	21.8	32.7	27.3	18.2	0.0	0.0
	5が最大値となった小学校の回答割合 (%)	0.0	2.9	5.7	25.7	45.7	20.0
	浜田市中学校の回答割合 (%)	2.7	7.9	20.1	30.4	11.6	10.9
	3が最大値となった中学校の回答割合 (%)	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	4が最大値となった中学校の回答割合 (%)	3.1	2.0	8.2	35.7	34.7	16.3

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6
58	あなたの学校では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度使用しましたか	ほぼ毎日 1日に複数回	ほぼ毎日 1日に1回	週3回 以上	週1回 以上	月1回 以上	月1回 未満
	浜田市の小学校の回答数 (校)	7	3	2	1	1	0
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	50.0	21.4	14.3	7.1	7.1	0.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	47.8	28.5	16.1	6.5	6.5	0.0
	浜田市の中学校の回答数 (校)	1	4	1	2	0	0
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	12.5	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	43.6	24.5	17.0	10.6	4.3	0.0

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5
55	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	ほぼ毎日	週3回 以上	週1回 以上	月1回 以上	月1回 未満
	浜田市の小学校の回答数 (校)	10	2	2	0	0
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	86.0	9.1	4.8	0.0	0.0
	浜田市の中学校の回答数 (校)	5	3	0	0	0
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	80.9	17.0	2.1	0.0	0.0

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4
56	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか。	ある	どちらかといえば、ある	どちらかといえば、そう思わない	ない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	9	3	2	0
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	64.3	21.4	14.3	0.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	60.2	32.8	6.5	0.0
	浜田市の中学校の回答数 (校)	1	6	1	0
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	12.5	75.0	12.5	0.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	26.6	55.3	16.1	2.1

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4
57	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。	ある	どちらかといえば、ある	どちらかといえば、そう思わない	ない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	6	8	0	0
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	42.9	57.1	0.0	0.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	37.6	46.8	14.5	1.1
	浜田市の中学校の回答数 (校)	1	6	1	0
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	12.5	75.0	12.5	0.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	26.6	55.3	16.0	2.1

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5
59	児童生徒が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
	浜田市の小学校の回答数 (校)	3	1	8	2	0
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	21.4	7.1	57.1	14.3	0.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	22.6	32.8	36.0	8.1	0.5
	浜田市の中学校の回答数 (校)	2	2	2	2	0
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	18.1	27.7	31.9	19.1	3.2

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5
60	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
	浜田市の小学校の回答数 (校)	3	2	3	5	1
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	21.4	14.3	21.4	35.7	7.1
	島根県の小学校の回答割合 (%)	13.4	23.1	30.6	27.4	5.4
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	2	2	3	1
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	25.0	25.0	37.5	12.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	4.3	20.2	28.7	42.6	4.3

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5
61	教職員と児童生徒がやりとりする場面	ほぼ毎日	週3回 以上	週1回 以上	月1回 以上	月1回 未満
	浜田市の小学校の回答数 (校)	3	0	7	1	3
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	21.4	0.0	50.0	7.1	21.4
	島根県の小学校の回答割合 (%)	28.0	16.7	24.2	14.0	17.2
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	3	2	1	2
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	37.5	25.0	12.5	25.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	14.9	17.0	22.3	25.5	20.2

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5
62	児童生徒同士がやりとりする場面	ほぼ毎日	週3回 以上	週1回 以上	月1回 以上	月1回 未満
	浜田市の小学校の回答数 (校)	3	1	5	3	2
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	21.4	7.1	35.7	21.4	14.3
	島根県の小学校の回答割合 (%)	16.7	19.4	19.9	23.1	21.0
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	1	2	2	3
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	12.5	25.0	25.0	37.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	6.4	11.7	19.1	31.9	30.9

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5
63	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面	ほぼ毎日	週3回 以上	週1回 以上	月1回 以上	月1回 未満
	浜田市の小学校の回答数 (校)	2	2	7	2	1
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	14.3	14.3	50.0	14.3	7.1
	島根県の小学校の回答割合 (%)	12.9	27.4	33.3	18.3	8.1
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	2	4	1	1
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	25.0	50.0	12.5	12.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	5.3	13.8	30.9	20.2	29.8

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6
64	前年度に、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童が学校以外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか。	週1回 以上	月1回 以上	3ヶ月に 1回以上	6ヶ月に 1回以上	年1回 以上	実施しな かった
	浜田市の小学校の回答数 (校)	0	0	1	1	5	7
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	0.0	0.0	7.1	7.1	35.7	50.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	0.5	3.2	11.3	8.6	19.9	56.5
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	2	0	1	1	4
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	50.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	0.0	6.4	10.6	7.4	17.0	58.5

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4
65	あなたの学校では、教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度活用していますか。	よく活用している	どちらかといえば、活用している	あまり活用していない	全く活用していない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	8	3	1	2
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	57.1	21.4	7.1	14.3
	島根県の小学校の回答割合 (%)	32.8	30.6	25.3	11.3
	浜田市の中学校の回答数 (校)	3	3	1	1
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	37.5	37.5	12.5	12.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	36.2	31.9	14.9	17.0

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6
66	あなたの学校では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。	毎日持ち帰って、毎日利用させている	毎日持ち帰って、時々利用させている	時々持ち帰って、時々利用させている	持ち帰らせていない	持ち帰ってはいけないこととしている	臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
	浜田市の小学校の回答数 (校)	2	0	10	0	0	2
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	14.3	0.0	71.4	0.0	0.0	14.3
	島根県の小学校の回答割合 (%)	23.7	18.3	47.8	5.9	1.6	2.7
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	5	3	0	0	0
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	20.2	38.3	31.9	3.2	3.2	3.2

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6	7
67-1	不登校児童生徒に対する学習活動等の支援	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	活用していない	該当する児童生徒がいない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	4	2	2	1	1	1	3
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	21.4
	島根県の小学校の回答割合 (%)	9.7	7.0	7.5	9.1	8.6	27.4	30.6
	浜田市の中学校の回答数 (校)	3	1	2	0	1	0	1
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	37.5	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	13.8	7.4	16.0	8.5	11.7	26.6	16.0

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6	7
67-2	希望する不登校児童生徒に対する授業配信	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	活用していない	該当する児童生徒がいない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	3	0	2	1	0	2	6
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	24.4	0.0	14.3	7.1	0.0	14.3	42.9
	島根県の小学校の回答割合 (%)	5.4	2.2	3.2	5.9	5.9	28.5	48.9
	浜田市の中学校の回答数 (校)	3	0	0	0	2	1	2
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	37.5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	25.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	10.6	6.4	3.2	7.4	7.4	35.1	29.8

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6	7
67-3	特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	活用していない	該当する児童生徒がない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	3	1	4	2	2	1	1
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	21.4	7.1	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1
	島根県の小学校の回答割合 (%)	26.9	17.2	15.1	8.6	4.3	13.4	14.5
	浜田市の中学校の回答数 (校)	2	1	2	0	0	1	2
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	25.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	22.3	9.6	12.8	12.8	6.4	22.3	13.8

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6	7
67-4	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	活用していない	該当する児童生徒がない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	0	0	0	0	0	1	13
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	92.9
	島根県の小学校の回答割合 (%)	3.2	2.7	1.6	1.1	0.5	7.1	86.0
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	0	0	0	0	0	8
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	島根県の中学校の回答割合 (%)	3.2	1.1	4.3	2.1	3.2	5.3	80.9

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6	7
67-5	児童生徒の心身の状況の把握	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	活用していない	該当する児童生徒がない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	2	2	0	0	1	8	1
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	14.3	14.3	0.0	0.0	7.1	57.1	7.1
	島根県の小学校の回答割合 (%)	24.2	2.2	2.2	1.6	4.8	43.5	21.5
	浜田市の中学校の回答数 (校)	1	0	1	1	1	3	1
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	24.5	0.0	3.2	6.4	7.4	46.8	11.7

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5	6	7
67-6	児童生徒に対するオンラインを活用した相談・支援	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満	活用していない	該当する児童生徒がない
	浜田市の小学校の回答数 (校)	0	0	1	0	2	7	4
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	50.0	28.6
	島根県の小学校の回答割合 (%)	2.7	0.0	1.1	1.6	5.9	59.7	29.0
	浜田市の中学校の回答数 (校)	0	0	0	2	1	4	1
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	50.0	12.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	1.1	2.1	2.1	5.3	7.4	62.8	19.1

番号	学校質問調査 質問内容	1	2	3	4	5
68	<p>障がいのある児童生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障がい種・障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援をどの程度行いましたか。</p> <p>※ 障がいにより情報機器端末の入出力自体に困難を抱えた児童生徒のための支援装置(例: 音声読み上げソフト、点字ディスプレイ、音声文字変換システム、視線入力システム、視線入力装置、ボタンマウス、プレススイッチ等)。</p>	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行わなかった	全く行わなかった	該当する児童生徒がいなかった
	浜田市の小学校の回答数 (校)	0	2	4	1	7
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	0.0	14.3	28.6	7.1	50.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	3.8	18.3	14.5	7.5	55.9
	浜田市の中学校の回答数 (校)	1	1	0	1	5
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	12.5	12.5	0.0	12.5	62.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	4.3	10.6	12.8	12.8	58.5

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
29-1	自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	112	128	87	22
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	32.1	36.7	24.9	6.3
	島根県の小学校の回答割合 (%)	34.1	42.1	19.0	4.7
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	90	196	69	12
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	24.5	53.3	18.8	3.3
	島根県の中学校の回答割合 (%)	29.9	49.5	16.5	3.0

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
29-2	自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	139	134	64	12
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	39.8	38.4	18.3	3.4
	島根県の小学校の回答割合 (%)	43.8	41.2	12.4	2.4
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	143	186	28	7
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	38.9	50.3	7.6	1.9
	島根県の中学校の回答割合 (%)	44.2	46.0	7.0	1.2

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
29-3	自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	52	119	140	37
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	14.9	34.1	40.1	10.6
	島根県の小学校の回答割合 (%)	18.4	40.3	35.0	6.2
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	52	147	144	24
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	14.1	39.9	39.1	5.5
	島根県の中学校の回答割合 (%)	16.0	40.4	35.9	6.3

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
29-4	自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	118	111	92	28
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	33.8	31.8	26.4	8.0
	島根県の小学校の回答割合 (%)	33.6	38.3	22.4	6.5
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	101	162	79	23
	浜田市の中学校の回答割合 (%)	27.4	44.0	21.5	6.3
	島根県の中学校の回答割合 (%)	29.4	46.7	18.4	4.4

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
30-1	ICT 機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	79	190	65	13
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	22.6	54.4	18.6	3.7
	島根県の小学校の回答割合 (%)	24.0	52.7	20.6	2.5
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	(30-1) ~ (30-7) は、7項目のうち無作為に選ばれた2項目に回答する形式			
	浜田市の中学校の回答割合 (%)				
	島根県の中学校の回答割合 (%)				

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
30-2	ICT 機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	138	135	59	13
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	39.5	38.7	16.9	3.7
	島根県の小学校の回答割合 (%)	43.4	40.2	13.7	2.5
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	(30-1) ~ (30-7) は、7項目のうち無作為に選ばれた2項目に回答する形式			
	浜田市の中学校の回答割合 (%)				
	島根県の中学校の回答割合 (%)				

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
30-3	ICT 機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	151	134	43	19
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	43.3	38.4	12.3	5.4
	島根県の小学校の回答割合 (%)	42.7	41.0	13.1	2.9
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	(30-1) ~ (30-7) は、7項目のうち無作為に選ばれた2項目に回答する形式			
	浜田市の中学校の回答割合 (%)				
	島根県の中学校の回答割合 (%)				

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
30-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。	とても思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	149	151	39	9
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	42.7	43.3	11.2	2.6
	島根県の小学校の回答割合 (%)	40.7	45.6	11.7	2.0
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	(30-1) ~ (30-7) は、7項目のうち無作為に選ばれた2項目に回答する形式			
	浜田市の中学校の回答割合 (%)				
	島根県の中学校の回答割合 (%)				

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
30-5	ICT 機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	とても思う	そう思う	あまり思う わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	73	152	100	23
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	20.9	43.6	28.7	6.6
	島根県の小学校の回答割合 (%)	23.3	47.6	24.8	4.1
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	(30-1) ~ (30-7) は、7項目のうち 無作為に選ばれた2項目に回答する 形式			
	浜田市の中学校の回答割合 (%)				
	島根県の中学校の回答割合 (%)				

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
30-6	ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	とても思う	そう思う	あまり思う わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	99	147	82	20
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	28.4	42.1	23.5	5.7
	島根県の小学校の回答割合 (%)	30.8	46.4	19.0	3.6
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	(30-1) ~ (30-7) は、7項目のうち 無作為に選ばれた2項目に回答する 形式			
	浜田市の中学校の回答割合 (%)				
	島根県の中学校の回答割合 (%)				

番号	児童生徒質問調査 質問内容	1	2	3	4
30-7	ICT 機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる。	とても思う	そう思う	あまり思う わない	そう思わない
	浜田市の小学校の回答児童数 (人)	136	156	47	10
	浜田市の小学校の回答割合 (%)	39.0	44.7	13.5	2.9
	島根県の小学校の回答割合 (%)	38.4	46.0	12.6	2.9
	浜田市の中学校の回答生徒数 (人)	(30-1) ~ (30-7) は、7項目のうち 無作為に選ばれた2項目に回答する 形式			
	浜田市の中学校の回答割合 (%)				
	島根県の中学校の回答割合 (%)				

(%)

番号	児童生徒質問調査 質問内容	浜田市小学校平均値		浜田市中学校平均値	
		最大値	最小値	最大値	最小値
29 1	自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか	68.8		77.8	
		100.0	45.8	88.5	62.5
29 2	自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか	78.2		89.2	
		100.0	62.8	100.0	80.5
29 3	自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか	49.0		54.0	
		80.0	24.2	65.4	42.0
29 4	自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか	65.6		71.4	
		100.0	36.3	100.0	53.0
30 1	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	77.0		質問なし	
		100.0	51.5		
30 2	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	78.2			
		100.0	66.6		
30 3	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる	81.7			
		100.0	66.6		
30 4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	86.0			
		100.0	80.5		
30 5	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	64.5			
		88.3	48.6		
30 6	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	70.5			
		100.0	20.0		
30 7	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる	83.7			
		100.0	66.6		

## 1 AIドリルの活用の様子

資料B

10月17日(金)、AIドリルを積極的に活用しておられる雲城小学校を訪ね、授業を見せてもらいました。また、校長先生や教頭先生、担任の先生に活用への思いやポイントを聞かせてもらいました。

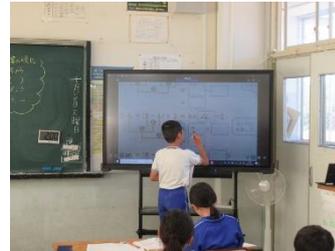
4年生(24名) 算数科 「式と計算」  
めあて：計算の順じよを使って問題をとこう。



① 問題を自分で解く



② 隣の人に説明する



③ みんなで考える



④ 発展問題を解く



⑤ 丸付けは先生



⑥ お助けマンがサポート



⑦ AIドリルに挑戦

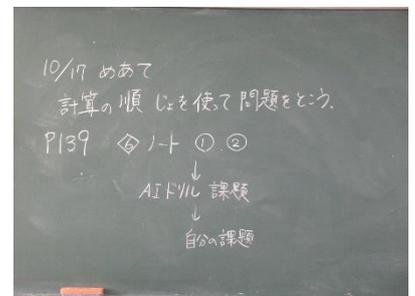


⑧ 先生は個人指導

※発展問題が終わった子どもからAIドリルの問題に挑戦していました。残り10分でしたが、自分のペースで問題を解いていました。丸付けをその場ですぐしてくれるので、短時間でもたくさん問題に挑戦することができます。多い子どもで、10問以上解いていました。

※浜田市算数・数学科授業改善アドバイザーの環太平洋大学 前田一誠教授が言っておられる「3つのキーワード：隠す(見えなくする・見えにくくする)、たくさんやらせる(たくさんやる)、ほめる(内容・価値ある言動)」を実践するうえで、AIドリルはとても有効な手立てだと思つきました。

※先生が「AIドリルに課題を送っているのです、この後AIドリルをやるよ。」と言われたら、「やった〜。」と歓声があがったのがとても印象的でした。



### ～担任の先生にインタビュー～

Q1 AIドリルを主に使う教科は何ですか。

A 算数や理科が多いですね。国語の時間の漢字学習に使うこともあります。

Q2 子どもたちに抵抗感はないですか。

A ありません。子どもたちはゲーム感覚で取り組んでいるので、むしろみんな好きみたいです。アイテムが増えたり、ポイントが付いたりするので、子どもたちは競い合っていて楽しそうにやっていますよ。

Q3 タブレット端末の持ち帰りはどうですか。

A 学年の実態に合わせています。4年生は週に1~2回ですが、5,6年生は毎日持ち帰らせています。

Q4 宿題に出しているのですか。

A オフライン版が出るまでは一斉の宿題にはできなかったのですが、これからはオンライン版、オフライン版を使って宿題として出していきたいと思つています。

Q 5 授業以外でどんな使い方をしてますか。

A 自習の時間やテストが早く終わった時に、自分で選んでやるようにしています。

Q 6 A I ドリルのよさはどんなところですか。

A 復習ができることです。子どもたちがつまづいているところまで戻ってやり直すことができます。また、A I ドリルが自分で丸を付けてくれるのがとてもいいです。

Q 7 雲城小学校の子どもたちがここまで使えるようになった最大のポイントは何ですか。

A 金城中学校校区で、I C T活用教育担当が中心となって9年間の指導計画を作りました。小学校でタイピングなど基礎的なスキルを身に付けて中学校へ進学できるようにしています。この指導計画が我々の背中を押してくれました。

また、職員室でA I ドリルについて話題になることが多く、刺激を受けます。

### ～校長先生、教頭先生にインタビュー～

Q 1 A I ドリルをどのように活用していますか。

A 授業の中で前時の復習やその時間の振り返りなどに使っています。また、担任が出張した時などの自習の時間に使ったりもしています。テストの時間には、早く終わった子どもからやらせるようにしています。

これまではそうした時間に読書をさせたり、プリントを印刷してやらせたりしていましたが、あえてA I ドリルをやらせるようにしています。問題を担任が配信しておく場合もあります。もちろん読書の時間もありますよ。

Q 2 教科は何が多いですか。

A 算数の問題をやらせることが多いですね。次いで理科の問題ですね。国語の漢字の問題に取り組ませる先生もいます。

Q 3 誰が使っていますか。

A 当然ながら担任の先生が使わせることが多いです。本校には理科専科の先生がいますが、その先生もよく使わせています。



Q 4 どのように使っていますか。

A 授業で学んだことを定着させるために、問題をたくさんやらせています。テスト後の隙間時間にやらせたり、読書の時間にやらせたりしています。今はあえてA I ドリルをやらせているという感じです。5、6年生は宿題でどんどんやらせています。

Q 5 ここまで使うようになった秘訣は何ですか。

A I C T活用教育担当が中心となってA I ドリルの使い方や機能の校内研修を行いました。職員室でも自然にA I ドリルが話題となるため、やってみようと思う先生が増えてきたようです。また、I C T活用教育担当のタイムリーな話題提供とサポートは大きいですね。子どもたちが喜んで使っている姿を見ることで、他の学級の様子を見たり、何より子どもたちの姿が先生たちのやってみようという思いにさせたりしていると思います。1回やってみて、やり方を覚えるとそんなに難しくはないことが分かり、広がったという感じです。A I ドリル活用への好循環が起きたように思います。

Q 6 子どもたちの反応はいかがですか。

A とても喜んでやっているようです。特に低学年では、ポイントがもらえたり、アイテムが増えたりすることで楽しそうに取り組んでいます。

Q 7 保護者の反応はいかがですか。

A 直接何かを言われたわけではありませんが、悪くはないようです。

Q 8 オフライン版も使えるようになりましたが、様子はどうですか。

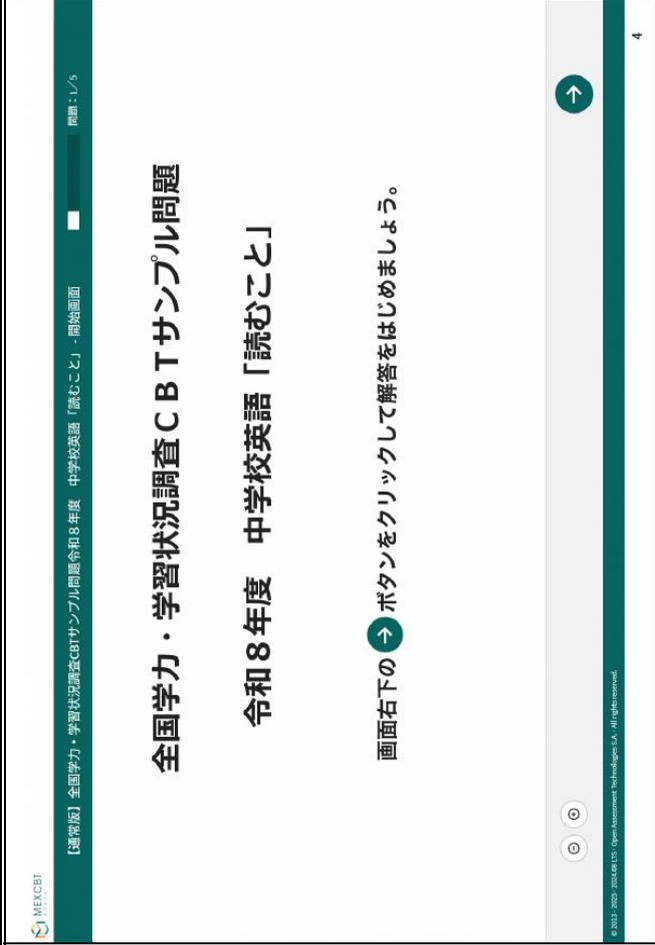
A ネットにつながらないだけでなく、ネットを子どもに使わせたくない保護者もおられます。これからは一斉に宿題としてやらせることができるようになりました。

ズバリ、AIドリルのよさは何？

- ★すぐに丸付けをしてくれる！
- ★自分のペースで問題に挑戦できる！
- ★自分の課題を繰り返しやれる！

浜田市のとらえる「学力」 = 浜田市の児童生徒の「課題」  
 限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現（文章、式、図、音声言語など）する力

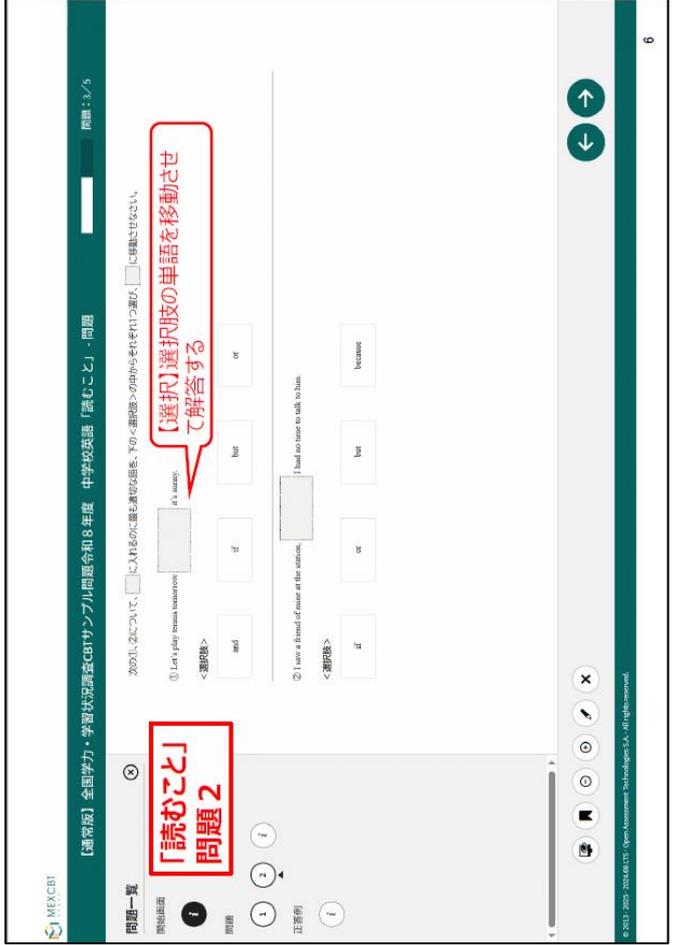
資料 C



全国学力・学習状況調査 CBT サンプル問題

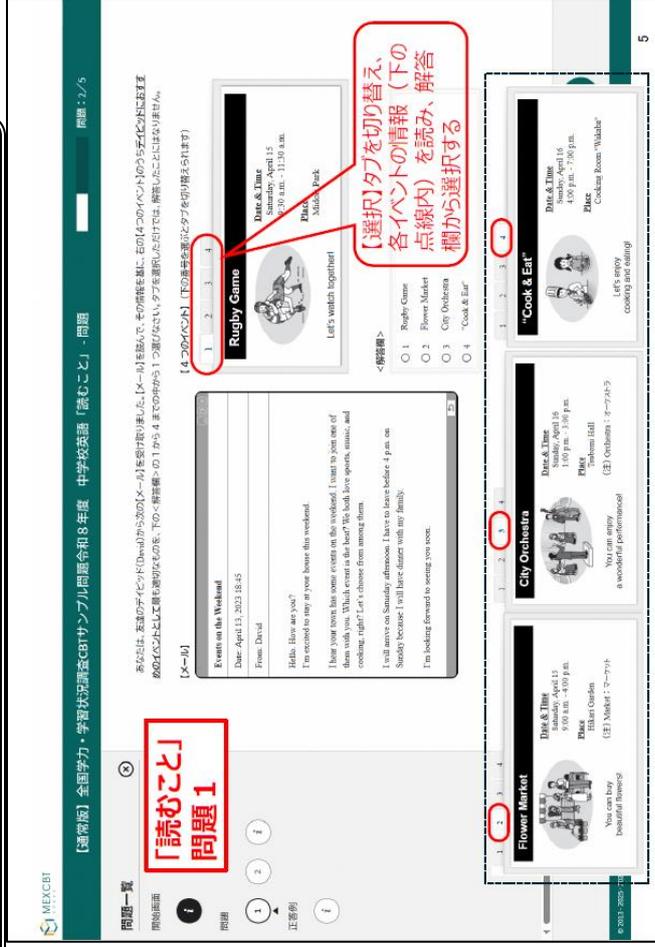
令和8年度 中学校英語「読むこと」

画面右下の ボタンをクリックして解答をはじめましょう。



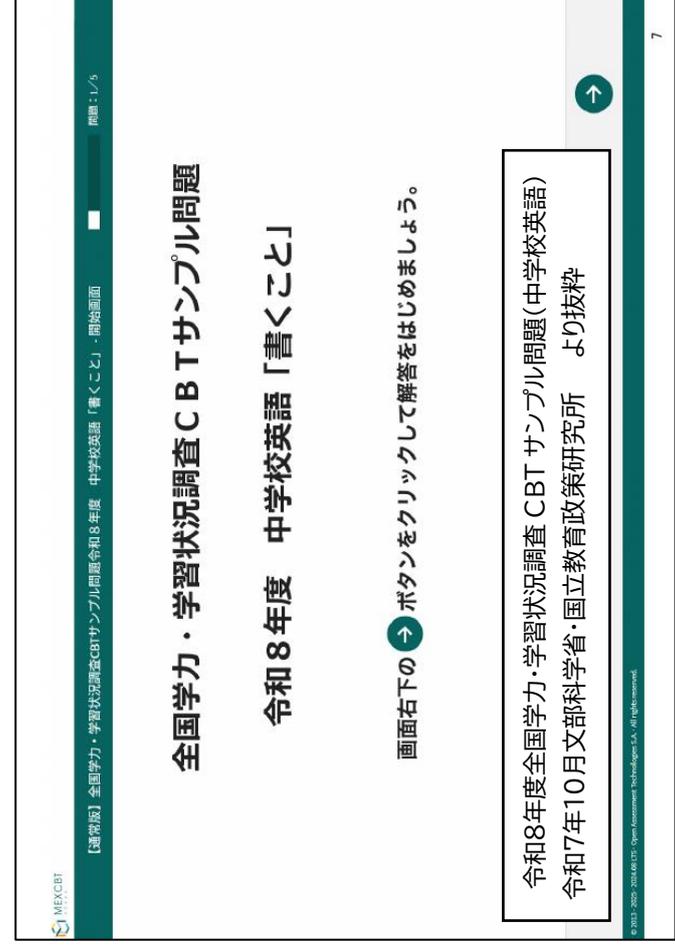
「読むこと」  
問題2

【読む】選択肢の単語を移動させて解答する



「読むこと」  
問題1

【読む】選択肢の単語を移動させて解答する



全国学力・学習状況調査 CBT サンプル問題

令和8年度 中学校英語「書くこと」

画面右下の ボタンをクリックして解答をはじめましょう。

令和8年度全国学力・学習状況調査 CBT サンプル問題(中学校英語)  
 令和7年10月文部科学省・国立教育政策研究所 より抜粋





## 第5回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会の会議結果について

第5回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会の会議結果について下記のとおり報告します。

### 記

- 1 会議名：第5回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会
- 2 日時：令和7年10月16日（木）18時30分～20時00分
- 3 場所：浜田市立中央図書館 多目的ホール
- 4 出席者：委員10人（欠席4人）
- 5 議題
  - (1) 協議事項
    - ① 第4回検討委員会の意見を踏まえた修正案について
    - ② 保存・伝承拠点の運営方式・運営体制の方向性について
    - ③ 検討スケジュールについて

## 令和7年度浜田市人権作品コンクール入賞者について

## 【開催目的】

浜田市教育委員会では、人権に関する理解と認識を深めるとともに、その作品を啓発に活用することで浜田市全体の人権意識の高揚を図ることを目的として、昭和59年から人権作品コンクールを実施しており、今回で42回目になります。今年度は30の方が入賞されましたので報告します。

## 1 ポスターの部（中学生） 応募作品数 76 作品【参考：令和6年度 109 作品】

賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	金城中学校	2	藤本 和花
優秀賞	第二中学校	3	佐々木 遥乃
優秀賞	第三中学校	3	濱本 咲希
優秀賞	浜田東中学校	3	山崎 咲榎
優秀賞	金城中学校	2	竹田 絢音
優秀賞	旭中学校	2	松原 彩香理
優秀賞	弥栄中学校	3	潮崎 アオ
優秀賞	三隅中学校	2	山田 汐里

## 2 作文の部（小学生） 応募作品数 16 作品【参考：令和6年度 17 作品】

賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	松原小学校	6	梨田 愛乃
優秀賞	原井小学校	5	非公表
優秀賞	松原小学校	6	江田 晴奏
優秀賞	石見小学校	5	佐々木 玲咲
優秀賞	美川小学校	6	佐々木 陽大
優秀賞	長浜小学校	6	徳田 李帆
優秀賞	弥栄小学校	5	美浦 麻希
優秀賞	三隅小学校	6	牛山 寛菜

## 3 作文の部（中学生） 応募作品数 28 作品【参考：令和6年度 27 作品】

賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	第一中学校	1	内藤 暖乃
優秀賞	第一中学校	2	山本 康介
優秀賞	浜田東中学校	1	吉田 夢叶
優秀賞	浜田東中学校	1	三浦 望乃
優秀賞	浜田東中学校	3	柳 あい梨
優秀賞	金城中学校	2	高橋 咲恋
優秀賞	三隅中学校	3	間所 亜莉朱

## 4 標語の部（一般） 応募作品数 105 作品（64 人）【参考：令和6年度 71 作品（51 人）】

賞	氏名
優秀賞	佐々木 富士子
優秀賞	日原 隆
優秀賞	平石 誠
優秀賞	斉藤 理子
優秀賞	森下 一己
優秀賞	岡本 隆信
優秀賞	潰田 明日香

【裏面へ続く】

※入賞者総数 30人【参考：令和6年度26人】  
※応募作品総数 225作品【参考：令和6年度224作品】

5 表彰式 日時：令和7年12月11日（木）15：30～17：00  
場所：浜田まちづくりセンター

6 作品展示

(1) 浜田市役所本庁舎での展示

- ① 期間 令和7年12月15日（月）～令和7年12月26日（金）正午
- ② 場所 1階市民ロビー

(2) 浜田市世界こども美術館での展示

- ① 期間 令和8年1月17日（土）～令和8年1月25日（日）
- ② 場所 3階多目的ホール

以 上